

講義名	生命倫理学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	神尾 和寿		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	21037

主題と概要

科学技術の発達にともなって、生命（医療、ひいては福祉）の分野でも、倫理（道徳価値）が問われる新たな状況が続出中である。この講義では、そのなかでも代表的な問題を幾つか取り上げて、倫理的観点から皆とともに検討していきたい。

到達目標

まず、各々の問題についての基本的な知識を得ること。次に、それらの問題を各自が主体的に考えてみる。さらに、それらの問題を検討するにあたって有力な思想を学ぶこと。以上の三点が、この講義の目指すところである。

提出課題

毎講義時間内に、講義内容に関連した簡単なレポートを課し、その提出をもって平常点に換算する。

評価の基準

平常の状況に関して30%程度、学期末の筆記試験の結果に関して70%程度の比率で、総合評価をする。ただし、原則として、3分の2以上の出席を必要とする。

履修にあたっての注意・助言他

可能な限り、講義に出席すること。質問等は随時受け付けるので、オフィス・アワーや講義の時間帯を気軽に利用されたし。講義中は、私語厳禁。（従わない学生に対しては、退出を命じる。それにも従わない学生は、その時点で、単位認定に関して「不可」とする。）

教科書

生命倫理への招待（改訂5版）	塩野寛・清水恵子	南山堂	2052円

プリント資料及び参考文献

必要に応じて、教員の側でプリントを準備する。

授業計画

1. 導入。生命倫理学とは何か
2. 不妊治療と人工授精について（1）
3. 不妊治療と人工授精について（2）
4. 優生学的観点からの中絶について（1）
5. 優生学的観点からの中絶について（2）
6. クローン技術における倫理
7. パターナリズムとインフォームド・コンセント
8. 脳死と臓器移植について（1）
9. 脳死と臓器移植について（2）
10. 自由主義と功利主義
11. 尊厳死、安楽死について（1）
12. 尊厳死、安楽死について（2）
13. パーソン論
14. ディープ・エコロジー
15. まとめ

予習・復習

授業の話題に即して、教科書（『生命倫理への招待』）の次の箇所を熟読して、授業内容の理解に努めるように。
 ・「不妊治療」については、13～49頁。
 ・「優生学」については、51～63頁。
 ・「脳死と臓器移植」については、65～79頁。
 ・「尊厳死、安楽死」については、84～107頁。

備考

なし